

海の声

地域の皆様と保護者の皆様と
子どもたちとわたしたち
御所浦小でおこすステキな奇跡

~VOICE OF OCEAN~

御所浦小学校
学校通信
令和4年2月18日
文責・木村純一

47

御所浦小ホームページのトップページはコチラ→



おかえり ~このことばって、こんなにあったかいんだ

私たちが心配したのは、ふたつ、感染の拡大と誹謗中傷等人権的配慮の問題です。特に人権的配慮について知らせてくなくて、今週月曜日と水曜日の朝は、岩下教頭先生からのメッセージを放送したところでした。

教頭先生からみなさんへのお礼と2つのお願いがあります。

一つ目は、感染症対策についてです。(中略)つまり、校内で濃厚接触者は発生しなかったということです。これは、当たり前のことかもしれませんが、とてもすばらしいことです。みなさんのこれまでの感染症対策の徹底した行動に「ありがとう」。(中略)

二つ目は、正しい知識で行動し、偏見や差別をしないということです。みなさんは、これまで様々な人権学習で差別や仲間外しは絶対いけないこと、うわさで勝手に判断して行動してはいけないこと、相手の気持ちを考えて行動することの大切さなど多くのことを学んできました。そして、みなさんは、これまでも友達を思いやり、自分で判断して正しい行動ができる場面をたくさん見せてくれました。学級通信で担任の先生がそのことについて書いている記事も読みました。学びを行動に移すことはとても大切なことです。さらに、今こそ、御所浦小学校の子供たちが、このような人権学習での学びをしっかりと自分たちの行動で示すことができるかを問われています。もう一度言います。今こそ、御所浦小学校の子供たちが、このような人権学習での学びをしっかりと自分たちの行動で示すことができるかを問われています。



ピンチはチャンスです！感染の心配がつきないコロナ禍であっても正しい判断と行動ができる御所浦小学校の子供たちであると信じています。今こそ、御所浦小学校の優しさと温かな輪で、みなさんと先生たちが一つの「チーム御所浦」となり、みんなが過ごしやすくて安心できる学校をつくっていきましょう。みなさんと先生たちならできる！そう信じています。

しかし、2月14日月曜日、私たちが目にしたのは、心配した心を傷つける悲しい言葉や行動ではなく、先に書いたように、温かい雰囲気にも包まれた光景でした。子どもたちは再会を喜び、休みの間の学習のアドバイスなど、心から友だちを思いやる光景でした。また、不安を抱えての療養だったのに、療養となった期間に近所の方から差し入れが届き、差し入れを写した写真がメールで届くたびに感動したという話も聞きました。

御所浦って、本当にあったかいですね。そしてステキですね。世界的にこんな状況だから、心ない言葉をかけられないだろうが、陰で言われたりしないだろうが、と人はネガティブになってしまいがちです。

みんなで一緒に勉強する、遊ぶ、そんな学校が一番いいと思いました！

「休んでいた時の勉強でわからないところ助けてよ」って友だちが言ってくれました。

たくさんの方が声をかけてくれたりメッセージをくれたりしました。地域の温かさをあらためて感じました。

学校に来るまで不安だったけれど、友だちがいつもどおり接してくれてホッとしました。

授業も給食も休み時間もとにかく楽しそつでした。会えなかった分のうれしさが伝わってくるようでした。

久しぶりの登校に少しドキドキしたけど、教室に入ると友だちがすぐ「おかえり」って寄ってきてくれてうれしかったです。

学校に来なくて、ずっとみんなに会えなかった。学校に来られて本当にうれしい。

久しぶりの給食がとんでもおいしかったです！

だれの言葉？
いい言葉は心にひびく

ひょっとしたら、私たちは、コロナを通して、人の心のすばらしさをあらためて感じる機会を得ているのかもしれないと思いました。いつもどおりの日常だったら、あってあたりまえと思っていたこともあらためてそのすばらしさを感じる機会になったのかもしれないと思いました。

確かに心ない言葉を聞いたという話も聞きますが、私たちはあったかいことばがあることを心の宝物にして、毎日を生きていきたいと思ったところです。「おかえり」そんなことばをありがたいと感じる心を大切にしたいと思ったところです。

ふと出合ったステキな詩。子育て、仕事、さらにはコロナ禍、大変な日々ですが、笑顔でがんばりましょう。笑顔があれば何でもできます。アー、二、三、ダア！